

船舶事故調査報告書

平成29年10月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	平成29年5月8日 09時20分ごろ
発生場所	岩手県宮古市閉伊埼西方沖 閉伊埼灯台から真方位258° 1.4海里付近 (概位 北緯39°39.0′ 東経141°59.7′)
事故の概要	漁船隆盛丸は、航行中、浸水した。
事故調査の経過	平成29年5月12日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 隆盛丸、0.2トン
船舶番号、船舶所有者等	IT3-45596（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船外機の濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 7、視界 良好 海象：波高 約1～2m 宮古市には、平成29年5月7日04時21分に強風注意報が発表されており、本事故時も継続中であった。 宮古気象測候所では、平成29年5月8日09時30分～40分の間に、風速約22.6m/sの南南西の風を観測した。
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、僚船4隻と共に閉伊埼南方沖でたこ釣り漁をしていたが、風が強くなってきたので、漁をやめて帰航を始め、閉伊埼西方沖を西進中、船首方から波高約2mの波を受けて海水が船内に流入し、船尾側に傾斜して船尾部が沈み、船外機が海水に浸かって停止した。</p> <p>船長は、海水をバケツで汲み出したものの、本船が更に沈みだしたので、船首部に這って移動した。</p> <p>本船の前方を帰航していた僚船の船長は、振り向いたところ、本船が見えないので戻り、浸水した本船の船首部にいた船長を救助した。</p> <p>本船は、帰航時、船首方から波高約1mの波を受けていたので、速力を落として航行していた。</p> <p>本船は、本事故後、水没した状態で付近の海岸に漂着しているところを発見された。</p> <p>船長は、いつも、出漁の前日にテレビ等で天気予報を見ており、本事故当日に強風注意報が発表されていることを知っていたが、本事故時には予想した以上の風が吹き、波高約2mの大きな波があっ</p>

	<p>たと本事故後に思った。</p> <p>船長は、ふだん、波高が約 1 m位までであれば、出漁していた。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していた。</p>
分析	<p>本船は、船首方から波高約 2 mの波を受けたことから、海水が流入し、浸水したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、船首方から波高約 2 mの波を受けたため、海水が流入し、浸水したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小型漁船は、風波の影響を受けやすいので、強風注意報等が発表されているときには、^{たぐ}堪航性を考慮して出漁の可否を判断すること。